

第1699・1700号

2024年  
2月5日

定価1部600円  
定期購読  
半年 5400円  
1年 10000円  
振替番号  
00140-5-95121

# 労働新聞

http://japanlabor.party/ shinbun@japanlabor.party

日本労働党中央委員会機関紙

発行所 労働新聞社 本社 〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋4-1-5 ポザール飯田橋2階  
編集発行人 高橋信 電話 03-3265-6506 / FAX 03-3265-6507

北海道支社  
〒001-0033  
札幌市北区北33条  
西6-1-10-206  
電話 011-558-4441

関西支社  
〒532-0011  
大阪市淀川区西中島5-8  
-29チサン第3新大阪501  
電話 06-6586-9920

九州支社  
〒812-0042  
福岡市博多区豊1-3-8-302  
電話 092-483-1344

## 労働党創立50周年 記念講演・躍進のつどい盛会に



独立・自主と社会主義をめざす闘い強め  
大衆に根ざした革命政党的建设の前進誓う

「日本労働党創立50周年記念講演・躍進のつどい」が1月27日、東京で開かれた。冒頭、秋山秀男・党中央委員会議長が50周年にあたってあいさつした。秋山議長は党の歴史を振り返りながら、独立・自主の政権をめざす闘いを堅持することを表明した。記念講演は、党中央委員会政治局常務委員の大嶋和広同志が行った。大嶋同志は、米帝国主義が断末魔の状態にあることを暴露し、資本主義が末期症状をさらす中で社会主義こそが打開の道であること、わが国において独立・自主の政権をめざして闘うこと、党建設の前進、特に青年・学生を迎え入れることを訴えた。沖繩から花谷史郎・石垣市議が「石垣島と南西シフト」と題して特別報告を行った。また青年グループ「ナースメン」が、能登半島地震の救援ボランティア活動について報告した。第2部のパーティーでも、服部良一・社会民主党全国連合幹事長、山崎誠衆議院議員（立憲民主党）をはじめ、各界の来賓あいさつが行われた。党地方議員団や現場で闘う同志たちの発言は、情勢に立ち向かう決意に満ちたものとなった。党の取り組みに初めて参加した青年・学生、海外からのゲストも目立つなど、つどいは活気にあふれたものであった。記念講演とつどいは、党創立以来50年を経て揺るがぬ政治路線を堅持して新たな闘いに踏み出す党の姿勢を内外に示した。秋山議長のあいさつと大嶋同志の講演、来賓ほか報告などの発言要旨を、編集部において掲載する。なお、講演全文は別の機会に発表する予定である。

### 秋山秀男議長のあいさつ

本日は創立50周年のつどいにご参加いただき、ありがとうございます。この50年間どうだったかと言いますと、特に大隈前議長が亡くなってから、労働党は大丈夫かという心配の声や意見も一部にはありましたが、皆さん、われわれはここにしっかりと立っております。しかも、50周年を記念することです。まずまず有利な情勢に闘い、勝利に向けて前進することを皆さんの前で誓いたいと思っております。今後とも共に闘いましょう。ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

政治闘争、統一戦線、イデオロギー闘争  
労働党が前進できた理由は何か。

きょう配られた年表を見ていただければ一目で分かっています。一つは、情勢の発展と大衆の切実な要求に応えて闘ったことです。これが、労働党がこんなに変わ

国の政治闘争の中で一定の地位を占め、いまだ健在である大きな要因だと思えます。本来なら、ひとつひとつの闘いを説明したいと思いますが、時間の関係で、労働党の50年間の闘いで、特に目立つ特徴的な闘いについて述べます。

一つは、議会的・平和的闘争にも取り組んだことです。総選挙闘争に確認団体として2回出ました。既存の議会主義政党と争ったわけです。2回出て、その後1986年、90年と闘いました。それに県知事選挙です。神奈川県知事選挙、そして福岡県知事選挙、われわれは県政や地方政治をめぐって闘ったわけです。これも特徴的なことだと思えます。以降、地方自治体議員選挙を闘ってきております。これが1点目です。

2点目は、統一戦線問題で頑張ったことです。最初には左翼連合、それから核兵器廃絶連帯の運動、そして90年代に入ってからには自主・平和・民主のための広範な国民連合。これは意見の違いがあることを前提に、政治方向で大きく一致する皆さんと共に上り、闘ってきたわけです。

広範な国民連合はこれにち、わが国の政治闘争、言論界、労組指導層・労組活動家、政治家など多くの人々を激励し、闘い、大きな支持を得ています。